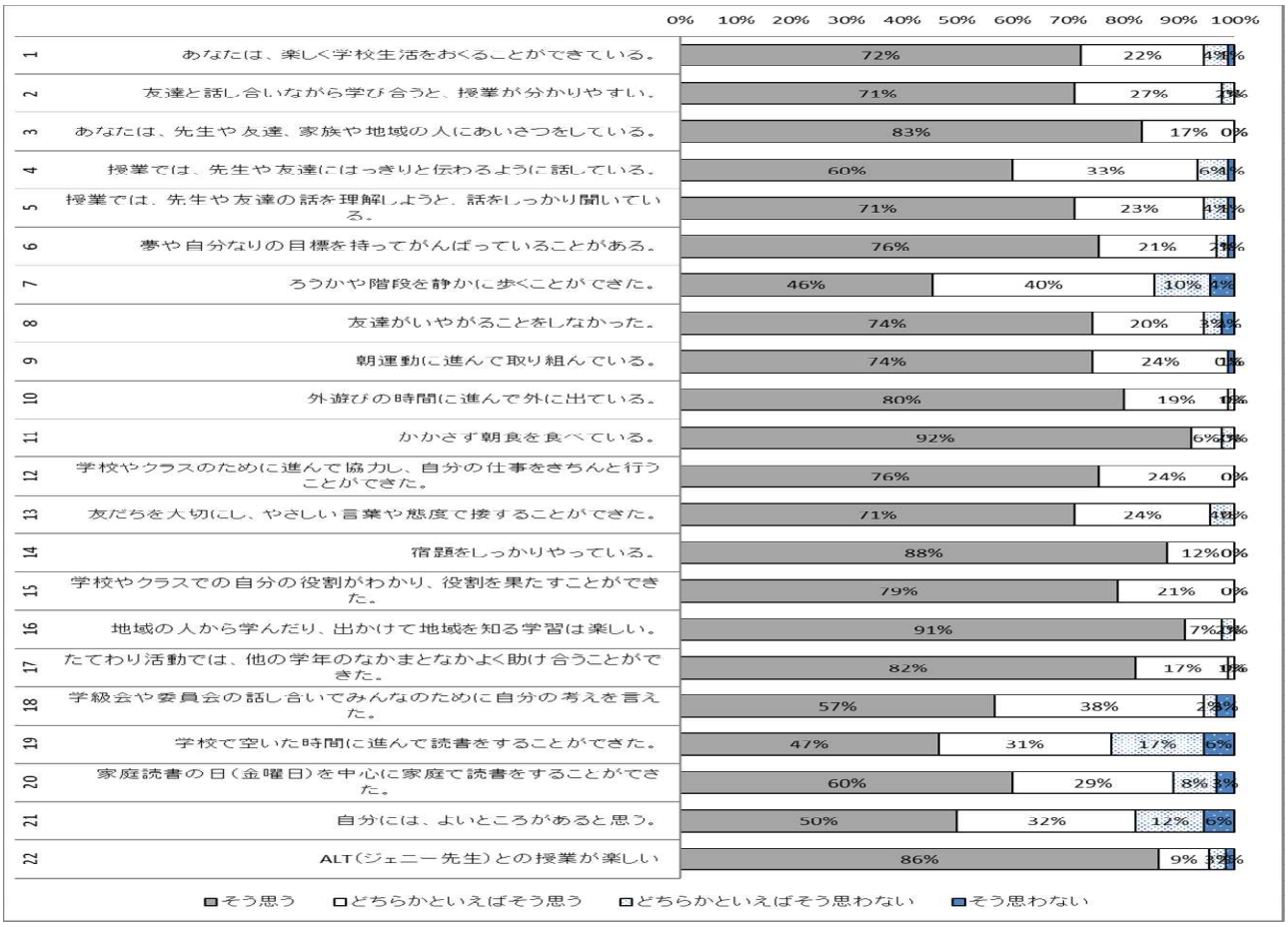
学校だより

令和元年年10月
特別号
伊豆市立修善寺小学校

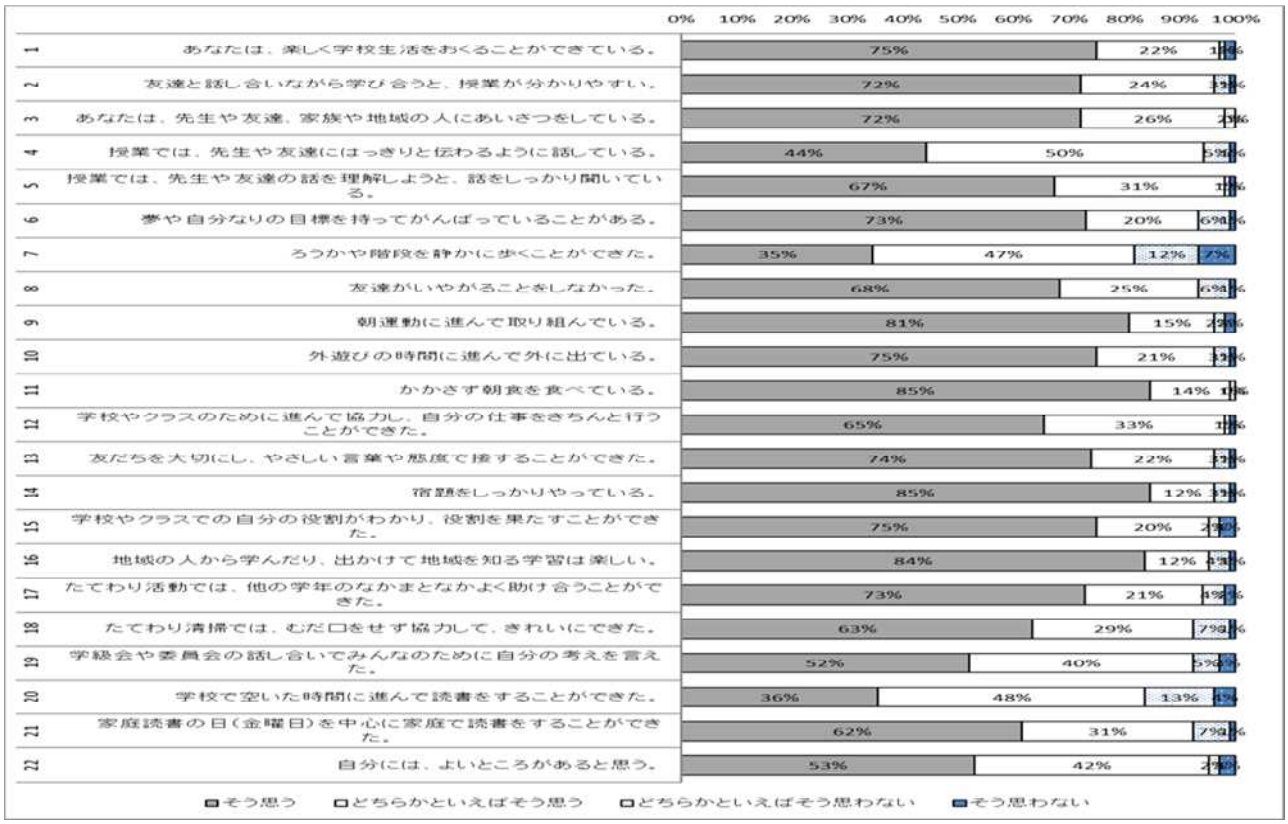
令和元年度修善寺小学校　前期学校評価アンケートの結果及び回答

1学期末に実施しました学校評価の結果について報告させていただきます。また、本校にて学校評価委員会を開催し、評価委員様よりご意見もいただきました。併せてお知らせいたします。

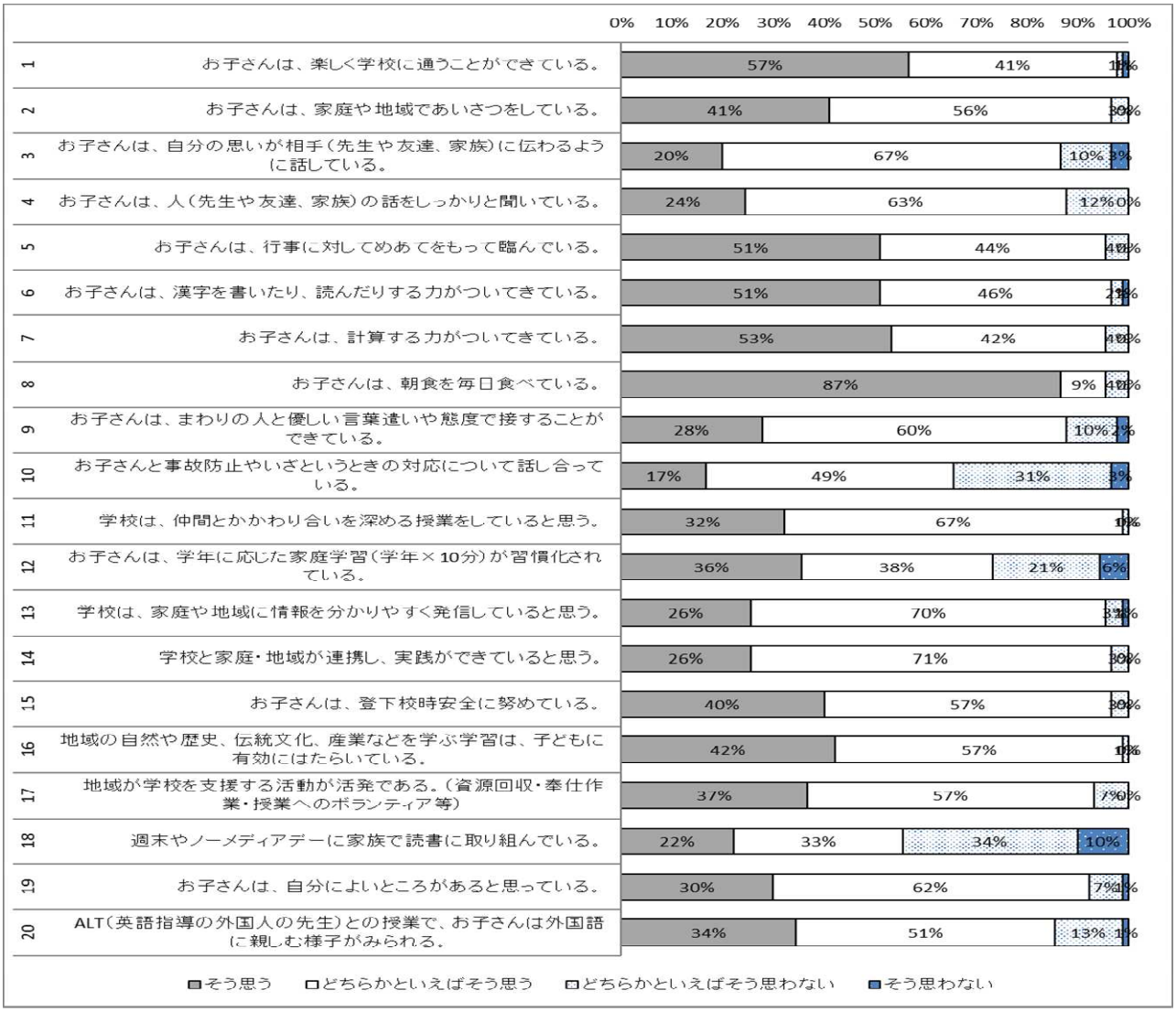
R1前期　児童集計結果



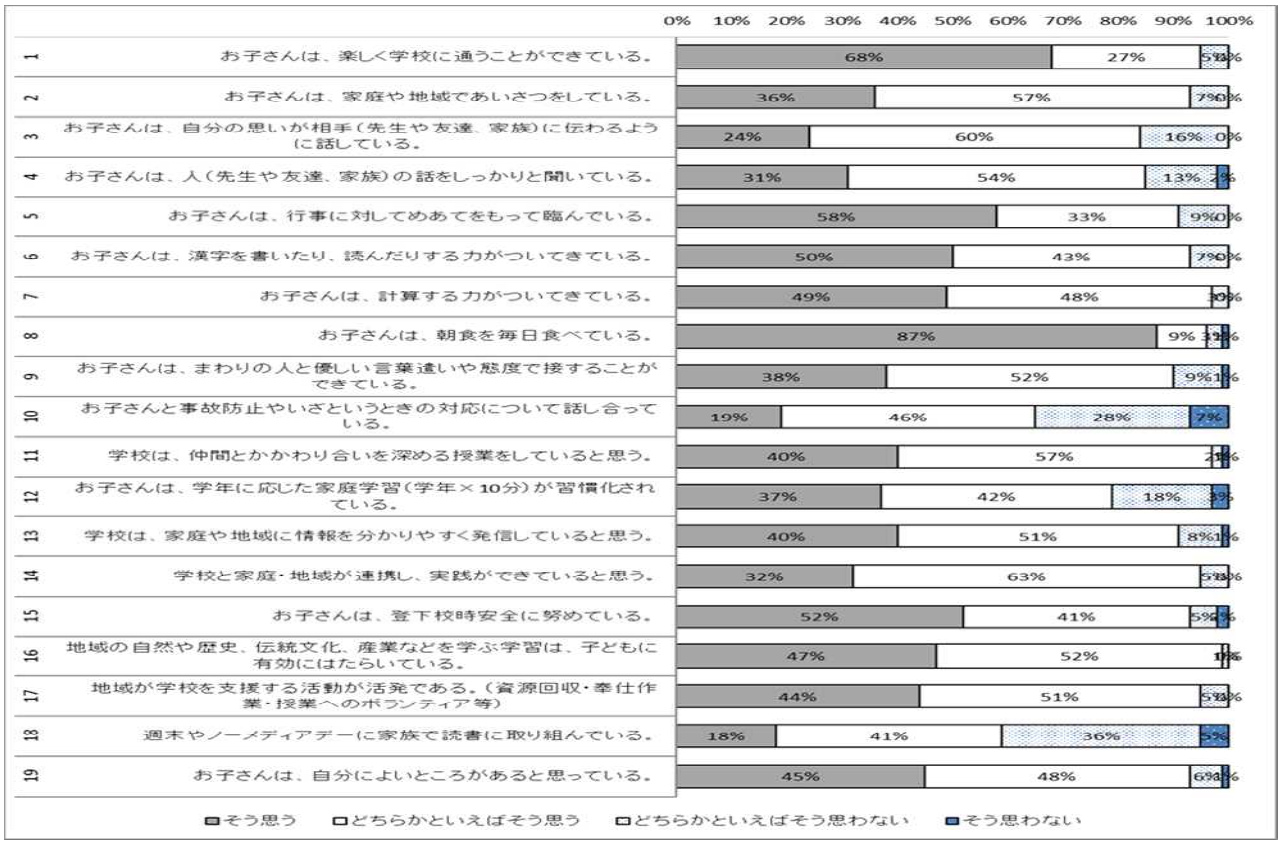
〈参考〉H30後期　児童集計結果



R1前期　保護者集計結果



〈参考〉H30後期　保護者集計結果



〈集計結果からみられる本校のよい表われ〉

○「そう思う」と答える児童の割合が、平成３０年度後期のアンケートより<u>１０ポイント以上</u>多くなった項目は次の通りです。
・授業では、先生や友達にはっきり伝わるように話している。
・学校やクラスのために進んで協力し、自分の仕事をきちんと行うことができた。
・学校で空いた時間に進んで読書をすることができた。

昨年度から、「そう思う」と答えた児童の割合に注目して比較しています。３０年度後期と比べると、多くの項目で「そう思う」と自信をもって答えることができる児童が増えています。中でも上記にあげる３項目は、大きく割合が伸びています。

昨年度から職員で行う研修の窓口教科を国語とし、様々な言語に関する内容を重視した指導を心がけてきました。その中でも「話す」ことは、修善寺小学校の児童の課題でもあり、力を入れているところです。始業式や終業式、朝会では、各ステージの反省をクラスの代表が発表しています。全校児童の前でも堂々と自分の言葉で語ることができています。また、返事も気持ちのよい返事ができるようになってきました。これからも、多くの人数の前で話をする機会や授業中で子供たちが話す時間が増えるようにする取り組みを続けていきます。

クラスでは、当番活動や係活動等任された仕事は責任をもってしっかりできている子が多いと思います。ただ、なかなか「自分から働く」という自主性の面では、子供たちの表れを見ていると、まだまだだと感じます。子供たちでも判断できる事はしてほしいと思っています。失敗したくないことが先行し、大人に確認をとってからしか行動できない子がいます。お子さんはどうですか。「ここは失敗してもいいからあなたに任せるよ。」と子供たちの力を信用してやらせてみる機会をつくっていきたいですね。

読書習慣がついてきました。これもご家庭でのご協力があるからだと思います。中には、「うちの子は読書があまり好きではないんです。」という方もいらっしゃるかと思います。読み聞かせや一緒に読書ができなくても、保護者の皆様が楽しそうに本を読んでいる姿を見せるだけでも大変な効果があります。本は一生の先生。読書は生涯学習につながります。

【評価委員より】

毎年、話題にのぼる挨拶ですが、旅館等でも若い従業員に人とコミュニケーションをとることが苦手な方が増えています。スマホでの対話はできても、人と対面して話ができないのです。子供のころから人と会ったら自然に挨拶ができるようになってほしいと思っています。登校指導に立っていると、とても気持ちのよい挨拶をしてくれる子供がいます。そんな挨拶をされると、１日気分がよく過ごすことができます。子供が挨拶をしないときには、大人から積極的に声をかけていきましょう。

気になったのは「お子さんと事故防止やいざというときの対応について話し合っている」という項目の評価が低いことです。電気に頼っている生活に慣れてしまっている中で、停電したとき、断水したときに、各家庭で対応できるかが心配です。保護者の皆さんだけが分かっているのではなく、子供たちとも話をしてください。先日の台風１９号では、修善寺地区では被害は大きくはありませんでした。他地区で、現在も普段の生活ができていない方がたくさんいることを考えると、他人事とせず、準備をしておくことが必要だと思います。食べ物は買えばすぐ手に入る世の中ですが、自然の中で暮らせる力も大事です。

ノーメディアデーの取り組みをうかがいました。子供たちは読書の習慣がついてきているようですが、保護者の皆さんもノーメディアで読書をすることをお勧めします。タブレットやスマホ等、時間のあるときにはすぐに見る習慣がついてしまっている方もいるようですね。月に１回は、テレビやスマホに頼らない生活を実践してみてください。

〈集計結果からみられる本校の課題および今後の方策〉

課題となるあらわれ	今後の方策
「事故防止やいざというときの対応について話し合っている」という項目での「そう思う」と答えた保護者の皆様の割合は平成３０年度１９％、令和元年度１７％と、さらに低くなっていました。	下記の□で囲った文章は１年前の表記です。 今年は、大雨や地震、台風など、伊豆地方には大きな影響はなかったものの、各地で大災害が起きています。他人事ととらえず、もしものときに、どう行動したらよいのかを、是非、ご家庭で話し合ってください。もしも電気が止まったら…。もしも水道が止まったら…。２、３日分の食料備蓄はありますか？避難場所はどこか知っていますか？等確認することが大切です。 先日の台風１９号の影響で小学校や総合会館に避難した方もいらっしゃると思います。災害はいつやってくるか分かりません。また、この機会にもう一度避難や備えに対して家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

貴重なご意見をありがとうございました。その他のご意見につきましては、すべての教育活動に反映できるものではありませんが、今後の参考にさせていただきます。下記にご紹介だけいたします。
※尚、個人的な内容の記述に関しましては割愛させていただきました。

・仕事や家庭の都合で懇談会に出られない場合、どんな話をしたか後日、プリント等で知れたらありがたいです。
・参観会後、時間がなかったのかもしれませんが、いつもの帰りの会の様子が見られるといいなと思いました。
・授業参観は、全員が発表の機会をもうけてもらい、子どもたちもハツラツとしていて、いいなぁと思います。
・授業参観の時に廊下で話している人がいて、子どもの発表の声が聞こえない時がある。
・参観日での親子で救命救急の授業はとてもよかったです。いい勉強になりました。
・家庭訪問がなくなり、希望者のみの面談となりましたが、良かったと思います。普段子どもで心配に思っていたことなど聞いていただき、学校での様子も知れました。その後の心配事に対する対応もしっかりしていただけました。
・教育相談では、担任の先生に色々と相談し、丁寧に話を聞いていただき励ましをいただき、ありがたく思い、感謝しています。ありがとうございました。
・家庭訪問を無くしたことにより、家庭内の様子を見る機会を減らしていいのか。最近は親による暴力などのニュースが多いので、心配になる。仕事が休めないなどの意見も分かるが、先生が見回るための時間だと私自身思っていたので、無くしたことに驚きました。
・運動会では、競技だけでなくそれぞれの委員会の活動を子どもたちがしっかりやっていたのが印象に残り、また、修善寺小 OB がボランティアに来てくれ感動。自分の娘が卒業後、母校のために少しでも役に立ちたい！と思ってくれるように成長して欲しいと願っています。
・遠足がいつもと違う場所で楽しかったようです。
・校外学習は、興味があるようで、教わったことを家族に教えてくれます。親より地域のことがくわしくなっていくのかもしれません♪楽しみです！
・宿題をなかなか自分からすすんでやる事が少ないですが、何とかしぶしぶやっている日が多い。
・資源回収ですが、子どもが少なく１軒が何軒もまわって回収しなきゃいけない状況なので、（来年度から）どう協力したらいいのか地区で話し合いたい。